

2012年8月10日
横浜ゴム株式会社

2012年度 第2四半期決算説明会



2012年度 第2四半期累計連結決算の状況

値上げの浸透、原材料費の落ち着きで大幅増益

単位:億円

	前年同期 (参考値*)	2012年度 第2四半期	増減率	増減額	2012年5月 修正予想
売上高	2,513	2,690	+7.0%	+176	2,780
営業利益	60	199	+232.2%	+139	180
経常利益	68	191	+180.4%	+123	190
当期純利益	36	137	+280.6%	+101	140

*参考値:2011年1月1日から2011年6月30日

部門別の状況

タイヤは国内新車用の販売増ならびに国内外での値上げが収益に寄与
工業品は自動車用ホース・シーリング材が好調

単位: 億円

		前年同期 (参考値*)	2012年度 第2四半期	増減率	増減額	2012年5月 修正予想
売上高	タイヤ	1,976	2,111	+6.8%	+135	2,200
	工業品	414	459	+10.9%	+45	460
	その他*	123	119	▲3.3%	▲4	120
	合計	2,513	2,690	+7.0%	+176	2,780
営業利益	タイヤ	42	169	+305.5%	+127	152
	工業品	8	23	+176.4%	+15	19
	その他*	10	7	▲26.1%	▲2	9
	合計	60	199	+232.2%	+139	180

*参考値: 2011年1月1日から2011年6月30日。*その他: 航空部品、スポーツ用品、その他

2012年度連結決算業績予想(通期)

業績を上方修正、売上高、営業利益とも過去最高を予想

単位:億円

	前年同期 (参考値*)	2012年度	増減率	増減額	期初予想 (2012年2月)
売上高	5,578	5,760	+3.3%	+182	5,750
営業利益	268	490	+83.1%	+222	400
経常利益	222	440	+98.6%	+218	370
当期純利益	113	300	+164.3%	+187	250

*参考値:2011年1月1日から2011年12月31日

業績予想の前提

為替レート	US\$ 77円	EUR 98円
原材料	RSS3号 340セント	



「GD100」Phase III

主な成果と今後の取り組み

GD100「ビジョン」と「基本方針」

■創業100周年にあたる2017年に

企業価値・市場地位において、
独自の存在感を持つグローバルカンパニーを目指します

■長期財務目標(2017年)

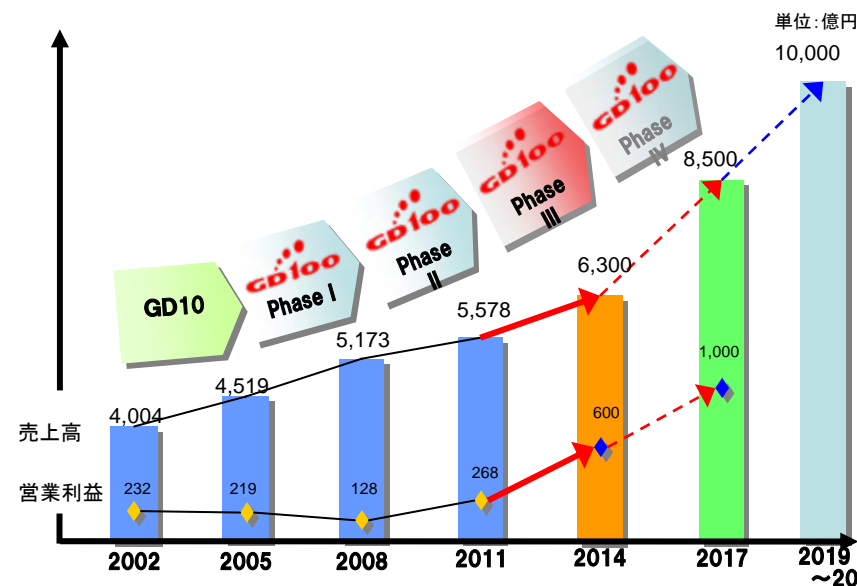
売上高:1兆円

営業利益:
1,000億円

営業利益率:
10%

■基本方針

- ・良いモノを、安く、タイムリーに
- ・トップレベルの環境貢献企業になります
- ・高い倫理観を持ち、
お客様最優先の企業風土を作り上げます



Phase IIIのテーマと定量目標

テーマ:「強くしなやかな成長」

「筋肉質な体質の更なる強化」「事業環境の変化・リスクに耐えるしなやかさ」

成長要因:新興国では中長期的に成長が継続、世界経済は拡大

リスク要因:欧州債務危機と世界経済への波及、円高継続、消費税増税による内需低迷

定量目標

Phase III目標
(2012/1~2014/12)

売上高
1兆8,000億円
営業利益
1,500億円
営業利益率
8.3%

■年度別内訳

	2012年度	2013年度	2014年度	合計
売上高(億円)	5,750	5,950	6,300	18,000
営業利益(億円)	400	500	600	1,500
営業利益率(%)	7.0	8.4	9.5	8.3

Phase III

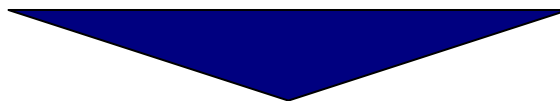
Phase IIIの基本的考え方

■定量目標達成に向けて

強化された事業基盤を源泉に投資の原資を生み出し、
タイヤを中心とした大型増産投資を積極的に実施する

供給能力の拡充により
成長国の需要伸張を遅れなく捕捉する

コスト競争力とブランド力UPで
営業利益率10%を目指す



タイヤ成長戦略

- ・大規模投資による供給能力の増強
- ・高付加価値商品のグローバル展開

MB成長戦略

- ・3つのコア技術でナンバーワンを目指す
- ・新規事業の創出と拡大

技術戦略

基盤強化

CSRへの取り組み

大規模投資による供給能力の増強

Phase III

タイヤ成長戦略

大規模投資による
供給能力の増強



ロシア工場完成、2013年に140万本生産

2011年度、販売本数300万本突破
高付加価値の大型車用／冬用タイヤが中心



左上から時計回りで、開所式のテープカット、工場
見学する来賓、工場内製造風景、工場全景

2014年からインドでタイヤ生産

インド・デリー近郊に建設
投資額44億円、年産70万本規模からスタート

タイヤ年間生産能力の推移

海外での能力増強により、2014年では海外における生産比率を45%に

単位:万本

工場		2011年	2012年	2013年	2014年
国内	三重(TB・LT)	590	590	590	590
	三島(PC)	1,390	1,390	1,390	1,390
	新城(PC)	1,410	1,410	1,410	1,410
	新城南(PC)	280	280	280	280
	国内計	3,670	3,670	3,670	3,670
海外	米国(PC)	620	620	620	620
	米国(TB)	50	58	60	60
	フィリピン(PC)	700	700	800	1,000
	中国(PC)	510	510	510	650
	中国(TB)	34	34	34	34
	タイ(PC・LT)	320	400	400	400
	タイ(TB)	35	35	35	40
	ロシア(PC)	—	70	140	160
	インド(PC)	—	—	—	40
	海外計	2,269	2,427	2,599	3,004
合計		5,939	6,097	6,269	6,674

高付加価値商品のグローバル展開

Phase III

タイヤ成長戦略

高付加価値商品の
グローバル展開



「低燃費タイヤ」「スタッドレスタイヤ」など新商品を投入



中国でORタイヤをOEM生産

- ・中国の山東興達輪胎でOEM生産、世界で販売
- ・49インチORラジアル発売へ



3つのコア技術でナンバーワンを目指す

Phase III

MB成長戦略

3つのコア技術で
ナンバーワンを目指す

● 運ぶ（搬送）

コンベヤベルト



高圧ホース



● くっつける（接着）

建築用シーリング材



ハードコート



● やわらげる（緩衝）

防触材



ゴム支承



フィルム用ハードコート材

スマートフォン、タブレット端末ディスプレイ向け

リチウム電池パック向け接着剤

携帯電話、デジタルカメラ用電池パック
携帯機器、自動車、住宅向け電池分野でも展開



エアーセルクッション「Medi-Air Sky」

底付検知センサー内蔵の車いす用クッション



ビジネスチャンスの創出・拡大

Phase III MB成長戦略

ビジネスチャンスの創出・拡大

空気式防舷材の高付加価値化

2船体操船・係留監視システム
総合モニタリングシステム

2船体操船・係留監視システム(左)
総合モニタリングシステム(右)



PRGR TOKYO-HUBオープン

科学的スイング診断で
他社と差別化

スイング解析を行う谷原秀人プロ(左)と
モニターで解析するインストラクター(右)



PRGR

今秋、「iD nabla」
シリーズ投入



左から「iD nabla X」シリーズのドライバー、FW、アイアン

基盤強化／CSRへの取り組み

Phase III 基盤強化

Phase III CSRへの 取り組み

ムダ取り活動／重要課題特別プロジェクト

「ムダ取り活動」:6年間で515億円削減。2012年度も継続
「重要課題特別プロジェクト」:抜本的な原価削減への取り組み

グローバル・コンパクトに署名

持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加
昨年から宮城県で支援活動実施



宮城県気仙沼大島での支援活動

岩手県大槌町で植樹会

「命を守る森の防潮堤」づくりを開始



植樹会開会式(上)。小釜川沿いの植樹風景(右上)。来賓として参加した細野豪志環境大臣と野地彦旬横浜ゴム社長〔右下〕





GD100